



感染症対策消毒業務に関する協定 調印式

本市は関西国際空港の玄関都市にあたり、日頃から感染症対策には取り組んでいるものの、万が一、本市内においてエボラ出血熱などの感染が確認された場合に、そのまん延を防止するための二次感染防止対策が必要になると考えられるます。そのような場合に優先的に専門資格者による消毒業務を行える危機管理体制を整えるため、1月18日(月)、市役所において公益財団法人 国際医療福祉教育財団と感染症対策消毒業務協定を締結しました。



このマークがついている画像は、スマートフォンなどのアプリをインストールすることで、動画も見ることができます。
※動画を見るには、右記のQRコードより市のホームページにアクセスし、AR(拡張現実)技術を使った無料アプリ「Aurasma」をダウンロードしてください。
(アドレス) <http://www.city.izumisano.lg.jp/shiho/AR.html>



このQRコードからもアクセスできます▶



歴史館いずみさの特別展示「泉佐野の文化遺産」

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさにおいて、1月30日(出)~2月28日(日)の期間、特別展示「泉佐野の文化遺産 日根荘の世界 ~絵図と鳥瞰図~」が開催されました。泉佐野の文化遺産の実物資料や写真パネルによる紹介のほか、日根荘講座参加者などにより制作された2枚の大きな泉佐野の鳥瞰図が展示されました。



アーチェリー銀メダリスト山本 博さん講演会

昨年2月に締結した本市と学校法人 日本体育大学の「体育・スポーツ振興に関する協定書」に基づき、アテネ五輪銀メダリストであり、現役選手として活躍されている日本体育大学 山本博教授をお招きして、1月30日(出)、J:COM末広体育館において「諦めの悪い男の世界一への挑戦」と題した講演会を開催しました。50歳をこえた今も現役選手として、東京オリンピックをめざすというモチベーションの維持や挑戦することの大切さなどをお話いただきました。



ふるさと納税の寄附金額が10億円を突破!

お礼の品を充実させた本市のふるさと納税の、今年度の寄附金額が昨年12月末時点で10億円を突破しました。近畿2府4県では、2年連続で第1位となっています。引き続き、「ふるさと納税」の促進を図り、本市へのご寄附を多く頂く事により、地元特産品のPRや販売促進・観光誘致につなげ、地元企業・地域の活性化を目指します。



長坂小学校で国際交流員によるモンゴル教室

本市と友好交流の覚書を締結しているモンゴル国トゥブ県より国際交流員として派遣されているバーサンフー・オユングレルさんが、2月2日(火)、長坂小学校の2年生を対象にモンゴルについての出前教室を行いました。子どもたちは、オユングレルさんによるモンゴルのお話や民族衣装の体験などをとおして、モンゴルの文化に楽しく接していました。



ソフトバレーで国際交流

2月11日(祝)、健康増進センターにおいて、NPO法人 泉佐野地球交流協会 (ica) 主催による「ソフトバレーで国際交流」が開催されました。日本人と外国人の混成チームで、勝敗にこだわらず国際交流を楽しみました。



全国児童作品展で絵画の部の金賞を受賞

市立第一小学校6年生の道正清志君が、「第27回MOA美術館全国児童作品展」絵画の部で金賞を受賞し、市役所に報告に来てくれました。この全国作品展で本市から金賞を受賞したのは、道正君が初めてのことでした。道正君は釣りが大好きで、一緒に住んでいるおじいさんと一緒によく釣りに出かけるそうです。受賞した作品も魚の「ガシラ」を題材にしたものでした。



英語教育推進校児童派遣事業報告会

1月31日(日)～2月4日(木)の5日間、オーストラリアのサンシャインコースト市に児童を派遣した「英語教育推進校児童派遣事業」の報告会が、2月16日(火)に市役所で行われました。派遣された児童は、長南小学校5年生の辻うららさん、小松屋來未さん、永井真優くんの3人です。報告会では、日本から持って行ったお土産の話や、ホームステイでどのようにホストファミリーとコミュニケーションをしたかという話などを千代松市長に報告しました。市長は児童たちに、今回の貴重な体験を生かして、中学生になっても英語を頑張してほしいと伝えました。



消しゴムはんこをつくろう

2月16日(火)、レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センターで「プレイパークで人気の消しゴムはんこを作ろう」(主催：泉佐野子育てネットワーク 三輪車)が開催されました。生涯学習ボランティア講師の河崎ひろみさんを講師にむかえ、参加者のみなさんは教えてもらいながら自分好みの消しゴムはんこを楽しく作っていました。

